

・ 98年地理学教室の行事記録	1
・ 98年度地理実習の記録	1
・ 卒業論文公開口頭試験について	3
・ 98年度卒業論文公開口頭試験日程	4
・ 国士舘地理学会費の納入について	5

【98年地理学教室の行事記録】

- 2月10・12・13日 平成9年度 卒業論文公開口頭試験
3月27日～29日 日本地理学会春季学術大会 開催
(於 世田谷キャンパス、世田谷区民会館)
5月23日 国士舘地理学会 (於 鶴川キャンパス メイプルホールほか)
<講演会> 磯谷 達宏氏 (本学専任講師) 「照葉樹林帯における自然林と二次林」
<総会> メイプルホール4F
<懇親会> 12号館1F
5月27日 9月卒業生公開口頭試験 (10401ゼミ室)
5月26日 環境アセスメント野外実習 (高野:多摩川の水質)
5月29日～30日 1年生地理実習 (神奈川県横浜市:長島・瀬戸・野口・長谷川・内田・岡島・磯谷)
6月7日 生物地理学野外実習 (生田緑地:磯谷)
7月23日～29日 測量実習 (鶴川:水尾)
8月15日～9月4日 自主巡検 (沖縄:長谷川)
10月2日～3日 2年生地理実習
(群馬県新田町:長島、長野県伊那市周辺:市川、霧ヶ峰高原:野口・長谷川、
栃木市・日光市・黒羽町:内田、小田原市・箱根町:岡島、長野県蓼科方面:磯谷)
10月28日～31日 3年生地理実習
(会津若松市:長島、水戸市・旭村:野口、南房総:長谷川、盛岡市:内田、新潟市:岡島、
伊豆半島:磯谷)
12月12日 国士舘地理学会 (於 世田谷キャンパス 8号館 8405教室)
<講演会> 山村 順次氏 (千葉大学教授) 「観光地理学の現状と課題」
<ゼミ発表> 小林和幸、佐藤久美子、伊藤嘉彦、加藤 譲、大高寛幸、小山 裕
<懇親会> 柴田会館3F

重要事項!必ず読むこと!

研究室、図書館から借りだしている書籍・備品は口頭試験の前(2月初旬)までに必ず返却して下さい。未返却者は、口頭試験が受けられません。

【98年度地理実習の記録】

- 1年生地理実習:5月29日(金),30日(土)実施
◎長島・瀬戸・野口・長谷川・内田・岡島・磯谷
実施地:神奈川県横浜市
参加学生数:75名(男子56名、女子19名、うち3名2年生)
テーマ:都心商店街の現状と動向についての店舗調査。
内容:イセザキモール商店街(第1日)および元町商店街(第2日)において、店舗や商店街の観察などにより、店舗の特色・工夫点や商業地の特性を把握、考察する。

課題：両商店街の店舗立地図を作成し、都心商店街の特性や現状についてレポートを作成する。

2年生地理実習：10月2日（金）、3日（土）実施

◎長島

実施地：群馬県新田町

参加学生数：9名（男子8名、女子1名）

テーマ：環境保全型農業

内容：第1日 JA新田で紹介された農家訪問、2人1組で5班。

その後農協事務所で減農薬・減化学肥料農業の概況について説明を受ける。

第2日 全員で酪農農家訪問、1時間ほど聞き取り。その後1時～3時までまとめの会。

課題：「新田町の農業」について400字詰原稿用紙で、20枚のレポート作成。

◎市川

実施地：長野県伊那市周辺

参加学生数：10名（男子6名、女子4名）

テーマ：伊那谷における地形と土地利用

内容：①伊那谷における扇状地の形成と鍵層火山灰ついでの見学

②ハンドレベルを用いた地形測量

③開削された扇状地における水利用について見学

課題：現地において撮影した写真を基に、10枚以上のレポートを作成する

（ルートマップ、写真解説図を必ず添付すること）。

◎野口・長谷川

実施地：霧ヶ峰高原

参加学生数：7名（男子2名、女子5名）

テーマ：本州亜高山帯の自然環境の理解

内容：霧ヶ峰高原を例に、地質・地形・気候・植生・人為的影響の相互作用について理解する。

◎内田

実施地：栃木県栃木市・日光市・黒羽町

参加学生数：10名（男子7名、女子3名）

テーマ：小京都の風景—風景論入門—

内容：風景の鑑賞方法について実習し、日本的風景について人文主義的視点から解釈する。

課題レポート：栃木・日光・黒羽の風景を記述し、それをもとに「日本的風景とは何か」について人文主義的に考察する。

◎岡島

実施地：神奈川県小田原市、箱根町

参加学生数：10名（男子10名、女子0名）

テーマ：近世・近代における都市と交通に関する歴史地理調査

内容：第1日 各班（2名）ごとに、小田原市街地において町並みの家屋調査と聞き取り調査を行い、町の現状と変遷過程について考察する。

第2日 箱根越えの旧東海道を実地に歩き、街道施設および資料見学をおこなう。

課題：「近世城下町小田原の近現代における変遷」

町並み調査結果の地図を作成し、標記の課題についてレポートを作成する。

◎磯谷

実施地：長野県蓼科方面（茅野市内～蓼科高原～縞枯山）

参加学生数：10名（男子9名、女子1名）

テーマ：山地帯～亜高山帯の植生

内容：コナラ林、ミズナラ林およびシラビソ～オオシラビソ林をおもな対象として、各植生型の分布・組成・構造・動態などを調べた。

課題：調査結果、文献情報、説明された事項、および自らの観察事項や考察をもとに、A4版で20枚程度のレポートとしてとりまとめる。

3年生地理実習：10月28日（水）～31日（土）実施

◎長島

実施地：福島県会津若松市

参加学生数：17名（男子13名、女子4名）

テーマ：各人の設定したテーマ

内容：例、会津若松市の商店街の立地。都市景観の保全。地場産業。農業経営など。

課題：400字詰原稿用紙で、30枚のレポート作成。

◎野口

実施地：水戸市及び旭村

参加学生数：13名（男子8名、女子5名）

テーマ：①気象環境に与える海の影響 ②都市の気候環境

内容：気象観測、気象台のデータ解析、農協・役所などの資料・説明をもとに、水戸市・旭村の気候環境を議論する。

◎長谷川

実施地：南房総、千倉町周辺

参加学生数：15名（男子11名、女子4名）

テーマおよび内容：完形成の海岸段丘、海岸植生、海岸微地形と海草・海藻類の分布、GISを使った土地利用調査。1～数名のグループに分かれて調査を実施した。

課題：各自30枚相当のレポートを作成する

◎内田

実施地：岩手県盛岡市

参加学生数：2名（男子2名、女子0名）

テーマ：各人の興味に基づいてテーマを決定し、現地地で脚を棒にして調査する

内容：盛岡市における高層建築物の立体的機能分化について、岩手県内各都市の観光イメージについて

課題：各人が決定したテーマについて小論文を書く

◎岡島

実施地：新潟市

参加学生数：14名（男子11名、女子3名）

テーマ：新潟市とその周辺における地域調査

内容：主として都市地理・交通地理に関して、各自が設定したテーマに基づいた資料収集、聞き取り等の調査。

課題：各自が設定したテーマについてのレポート作成

◎磯谷

実施地：伊豆半島（南伊豆町、河津町、天城山）

参加学生数：14名（男子9名、女子5名）

テーマ：照葉樹林帯～ブナ帯の自然植生を中心として

内容：伊豆半島の照葉樹林帯からブナ帯にかけての植生（自然林、二次林、草原など）をおもな対象として、植生の分布・組成・構造・動態などを調べた。また、各自、卒論のテーマに関連した事項についても調査した。

課題：調査結果、文献情報、説明された事項、および自らの観察事項や考察をもとに、A4版で30枚程度のレポートとしてとりまとめる。

【卒業論文公開口頭試験について】

地理学教室では、卒業論文の審査が公平になされるよう各々の論文を2名の教員が閲読し、さらに公開口頭試験の結果を加味して可否を決めています。今年度も下記の通り、卒業論文の口頭試験が行われ、試験の結果から卒論の評点が決まります。試験は、持ち時間9分の口頭発表とそれに続く質疑応答です。発表者はあらかじめ卒論の要旨、図表などをまとめたレジュメを用意し、出席者に配布できるよう準備してください。また、質疑応答の際に必要な卒業論文のコピーは必ず持参してください。

就職が決まり、試験当日に社内研修などが予定されている4年生は、就職予定先に事情を説明し、研修欠席の手続きを済ませておくようにしてください。

日時：平成11年2月10日（水）、12日（金）、13日（土） いずれも9：00～

場所：世田谷校舎 10号館2階 階段教室

注意事項（よく読むこと）：

※ 試験時間は、1人18分（発表9分、質疑応答9分）である。発表者は発表用原稿を必ず用意し、あらかじめ発表の練習をしておくこと。発表の内容はもちろん、発表の手際や発表の態度なども審査の対象となる。（発表時の予鈴7分、本鈴9分）。

※ 発表に際しては、かならず以下の要領でレジュメを用意しておくこと。レジュメはワープロにより作成することが望ましい。

1. レジュメは、論文題目、氏名、論文の要旨（800字程度で目的・方法・結果を書く）、説明に使用する図表によって構成する。
2. レジュメの枚数は、B4サイズで2枚、横書き（図表を含む）とし、各自30部ずつ用意する（自費で

コピー)。

3. レジュメは、発表者交代の合間に、当該発表者の次の発表者が配るものとする。その際、まずはじめに教員に配ること。

※ 発表では、スライドやOHPなども使用できる。

※ 3年生は来年のためにも、全員2日以上出席すること。1、2年生もできるかぎり1日以上出席すること。必ず今後の参考になる。

【卒業論文公開口頭試験日程】

番号	氏名	題目	主査	副査
2月10日(水) 9:00~12:00<進行:長谷川>				
1	佐竹 大介	神奈川県における湘南地域の観光戦略-藤沢市・大磯町の観光状況に基づいて-	長島	内田
2	川嶋 洋志	東京都世田谷区の機能別にみた緑地分布	磯谷	野口
3	石井 康	千葉県印旛郡富里町における西瓜栽培	長島	野口
4	日沼奈々子	秋田県内におけるハタハタ食形態の差異について	内田	長谷川
5	岩渕 昌也	千葉県木更津市金田地区住民の生活面に関する意識調査について -東京湾アクアライン開通を境に-	内田	岡島
6	山崎 勇治	小田急線新百合ヶ丘駅周辺地区における地区開発の発展とその課題	岡島	磯谷
7	深澤 崇	神奈川県と静岡県建物の地震被害と自治体の対策 -神奈川県西部地震と東海地震を例に-	長谷川	磯谷
9	古川 淳治	岩手県における降雪量の日本海側からの影響	野口	磯谷
10	川本麻衣子	高層住宅の立地にとまなう都市周辺部の変化について	内田	磯谷
11	阿部 文武	相模鉄道いずみ野線沿線の発展過程 13:00~15:10<進行:磯谷>	岡島	長島
12	田上 雅伸	川崎市多摩区における宅地開発の展開	岡島	長島
13	佐藤 愛	セイトカアワダチソウの繁茂と水質汚染の関係-手賀沼集水域を例に-	磯谷	野口
14	小笠原洋介	東京都田無市と保谷市の合併問題について	岡島	野口
15	山本 芳裕	ウォーターフロント東京都港区台場におけるビヤ空間と居住空間の融合について	長島	内田
16	若井里江子	手描き地図による日本の大きさとかたち	内田	長谷川
18	下田 大介	大宮駅西口商店街の開発と地域への影響	長島	野口
21	松村 光彦	都心部における高齢者の居住特性-神田神保町1丁目を事例に- 15:20~17:30<進行:内田>	内田	長島
24	杉山 崇	静岡県藁科川の木枯の森における植生	磯谷	野口
26	金子 滋幸	ランドサットデータによる中国内モンゴル自治区奈曼(ナマン)周辺の砂漠化程度の評価	長谷川	磯谷
28	坂本 繭子	千葉県における大気汚染の諸特性	野口	長谷川
29	沼尻美恵子	マレーシア・サラワ州の熱帯林減少の原因-焼畑と商業的伐採、二つの説を巡る検討-	長谷川	磯谷
30	富田 裕美	千葉県における8月の海陸風について	野口	長谷川
33	吉田 正光	三宅島北東斜面における噴火後の植物の侵入	磯谷	長谷川
35	梅澤 朗	多摩ニュータウン地域住民の居住環境の変化について	岡島	磯谷
2月12日(金) 9:00~12:00<進行:内田>				
36	秋本 直樹	千葉都市モノレールの利用状況と周辺地域への効果	岡島	長島
43	荒川 隆志	宮崎市におけるリゾート開発「シーガイア」について	内田	長谷川
46	庄田 哲夫	千葉ニュータウンの都市開発-印西市千葉ニュータウン中央地区・印西牧の原を事例に-	長島	岡島
49	石賀 俊哉	住工一致の零細工業における存立意義と衰退要因 -東京都墨田区京島地区の金属加工工業を事例に-	長島	野口
52	櫻井 周郎	ロードサイド型店舗の立地特性について -相模原市・国道16号線と町田市・町田街道を事例に-	内田	岡島
55	佐久間晋也	茨城県における夏季の風向と日最高気温の関係について -1993年冷夏年、1994年暑夏年を対象として-	野口	磯谷
57	筒井 直人	東京湾アクアラインの効果と課題	岡島	野口
58	釘持 周平	鉄道競合区間における駅勢圏について-東京都品川区大井周辺を事例に-	内田	岡島
59	鶴田 倫子	支流の流域特性からみた山地河川の粒径変化とその要因 -長野県北部・裾花川と土尻川を例に-	長谷川	磯谷
64	深沢 英史	新潟都市圏における交通流と周辺地域の変化 13:00~15:10<進行:野口>	岡島	内田
66	大輪 浩幸	浅草花やしきの人文主義的解釈-昭和30年代の浅草との関係-	内田	長谷川
70	百田 知永	多摩ニュータウンにおける住宅供給形態と高齢化比率の関係に関する研究	内田	長谷川

		一諏訪・永山地区を事例にー	長島	内田
75	星野 知大	スギ人工林の施業方法の違いが林床植生と土壌に与える影響について	磯谷	長谷川
76	穂坂 雅人	都営12号線開通に伴う駅勢圏の変化	岡島	内田
79	鍋田 匡之	東急多摩田園都市における宅地開発と商業施設立地	岡島	長谷川
80	鮫島 政規	神奈川県における民間研究所の立地状況について	長島	磯谷
84	河崎 昭良	東京大都市圏周辺都市 町田市の中心商業地の変化 15:20~17:30<進行:岡島>	岡島	野口
85	木村 賢人	「自然観」の地域差と個人差について	内田	磯谷
87	坂田 康浩	過疎地域における地域情報化事業への取り組みとその課題 ー富山県婦負郡山田村を事例にー	長島	野口
88	三品 雅孝	高齢者人口の地域的分布と福祉施設の立地状況等からの高齢化社会の考察	長島	磯谷
89	大曾根宏昭	増加する農業法人の経営展開についてー千葉県の農業法人を事例にー	長島	野口
90	高橋 浩二	河川における沈水植物の分布と水質汚濁ー相模川支流4河川を事例としてー	磯谷	長谷川
91	三浦 俊亮	新潟県における金魚養殖の現状ー小千谷市・山古志村を事例にー	長島	長谷川
96	岡田 修一	JR南浦和駅と武蔵浦和駅周辺の地価変動と土地利用変化	岡島	内田
		2月13日(土) 9:00~12:00<進行:岡島>		
97	橋本 泰子	神奈川県央地域における大気汚染について	野口	長谷川
98	鈴木 大典	多摩ニュータウン居住者の加齢化に伴う地域への影響	長島	内田
101	小棚木いずみ	都市における子供の遊び場	長島	内田
102	菅野 大輔	横浜市港北区新横浜地区における横浜第二都心化計画による街づくりの現状と課題	岡島	磯谷
103	原島 賢	八王子駅周辺における駐車場施設の分布と現状ー横浜駅周辺を例としてー	長島	野口
104	堀川 貴満	長野市における冬季オリンピックによる道路整備とその効果	岡島	内田
105	甲谷 茜	関東地方における夏の高温について	野口	長谷川
106	嶋本 竜士	三重県の耕作放棄地の拡大と対策	長島	磯谷
107	笠原 秀恭	大規模小売店舗の立地動向とそれによる商店街への影響	長島	内田
108	市川 敦史	神奈川県山北町三保ダムおよび丹沢湖周辺の観光・レクリエーション開発 13:00~14:30<進行:長島>	岡島	野口
112	大島 良紀	伊豆半島・房総半島から、伊豆・小笠原諸島にかけての気候環境の変化について	野口	長谷川
113	赤坂 仁一	東京都新宿区牛込地域における都市型地域組織について	岡島	長谷川
114	吉岡 優子	大阪と東京における住民の郷土意識についてー東西の対抗意識を中心にー	内田	磯谷
115	酒井 規充	都市河川における河川敷の土地利用形態ー荒川河川敷ゴルフ場を例にー	長谷川	野口
116	植木 健文	新潟市における都市化の影響ー坂井輪地区を中心としてー	岡島	長谷川

【国土館地理学会費の納入について】

本年度の国土館地理学会費を至急お支払いください。以下に掲げる会費未納者は、次の要領で2月末までに、全員必ず会費を納入するようにして下さい。納入方法は郵便振替でお願いします。振替用紙は郵便局にもありません(口座番号:00150-7-161762、口座名:国土館大学地理学会)。

(注:疑問の点は岡島まで連絡して下さい。なお、上記は12月末現在の未納者です。)